

事務事業	423801	観光振興事業		
事業区分	実施計画事業	施策体系	423810 地域資源の活用・発信	
区分	必要性	高い	効率性	高い
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略
対象	狭山市観光協会			

事務事業目的	本市の魅力向上のため、地域の観光資源を有効に活用し、各種観光事業を推進することにより、もって、市民の郷土愛の醸成を図るとともに交流人口の増加を目指します。
事務事業内容	狭山市観光協会が行う観光振興事業(入間川七夕まつり、街中ウォーキング等)に対して、その事業費の一部を助成します。
実施形態	補助
成果指標	観光協会主催、共催及び協賛等事業実施回数 令和元年度実績： 24回
活動指標	(活動指標1) 観光協会への補助金 (活動指標2) 産業観光ウォーキングツアー参加者数 (活動指標3) 狭山市入間川七夕まつりやらい飾り出展数 令和元年度実績： 指標1 21,400,000円 指標2 364人 指標3 61基

事業コスト計算

事務事業費予算額	21,893,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.10 人
事務事業費決算額	21,754,965 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.73 人
予定値		確定値	
直接事業費	21,893,000 円	直接事業費	21,754,965 円
人件費	9,066,644 円	人件費	5,903,075 円
総額	30,959,644 円	総額	27,658,040 円

見直し実績	文化財や豊かな自然などの様々な地域資源が、新たな観光資源として活用されるよう、狭山市観光協会などと連携しつつ、インターネットやSNS、ARマップなどを活用した観光情報の発信を強化した。	
事業評価	内部要因 外部要因	(内部要因) 「入間川七夕まつり」や「航空祭」をきっかけに、市の観光資源をPRすることができる。 (外部要因) まちの「にぎわい」を創出し、地域の活性化や拠点づくりを行う必要性が高まっている。
	必要性	地域の観光資源を有効に活用することは、新たな観光客誘致や魅力を発信することで、観光の振興が図られる。
	効率性	観光協会及び各種団体が主体となって事業実施することで、より効果的な観光振興が図られる。
	方向性	本市の魅力を向上させ、交流人口の増加を図り、また定住人口増加を目的に、引き続き様々な観光事業を支援する。